

日本ことば療法学会

JLTA

Japanese Language Therapy Association

発行 一般社団法人発達支援協会 年2回発行(6月・12月)

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98

TEL&amp;FAX: 052 (505) 5255

<http://www.seepa.jp/u/nihon-kotoba-ryohou-gakai>Eメール: [takada@aroma-nagoya.com](mailto:takada@aroma-nagoya.com) 発行人: 堀田喜久男

## ことばを話したい子がいる ことばを聞きたい人がある

## それをつなげる療法士がいる

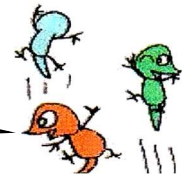
## 日本ことば療法学会認定『ことば療法士』認定制度 開始

## 【ことば療法士とは】

障害児のことば(発語)療育を楽しく学べて効果がある療法・指導法が少ないのが現状です。『ことば療法士』は、障害児・者の発達支援という広い視野に立ち、音楽療法の枠を超えて、様々な分野の方々と情報を共有して、子どもの発達段階でその子どもにあった『ことばの療育』を進めていくセラピストです。

## ■キャラクター紹介(ジュリッペ)恐竜です。作:堀田博紀

僕ジュリッペです。宜しくお願いします。



## ■ことば療法士 認定制度

<http://www.seepa.jp/u/hattatu/> 検索→発達支援協会

上記ホームページにリンクしています(認定制度を解説しています)

## 【日本ことば療法学会は】

当学会は障害児・者のことばの療育を調査・研究、発表、実践を通して療法の普及並びに増進を図り、障害児・者のことばの獲得、言葉によるコミュニケーション能力を高めることを目的とする。

## ♥INDEX♥

## 『ことば療法士』認定制度

個別セッション3年8ヶ月の記録 . . . . . 堀田喜久男

## 第1回日本ことば療法学会

『JIMTによるM男の変容』 . . . . . 宍戸 理恵

知的障害者A君とのとんちんかん問答 . . . . . 上野 奈央

子どもと向き合って出来たことばの教材 . . . . . 竹森 若緒

大型道具導入後のディサービス . . . . . 赤崎 倫夫

コラム・情報・発語音楽療法 認定教室の紹介

# 個別セッション3年8ヶ月の記録

発語音楽研究所

堀田喜久男

発語音楽研究所で10数名の障害児の個別セッション（以下Sと略す）をしている。月3回で1Sは50分前後である。対象児A君は中度の自閉症で、来所時は5歳で発音や発語はわずかで落ち着きはなかった。

## 経過

4年前、名古屋市生涯学習センターで親子セミナーを行った時、A君はしばらくして会場をとび出し、コセラのTさんが連れ戻しセミナーに参加できた。その後、父とともに発語音楽研究所で個別セッションをしている。

まず、りんごなどのマラカスで♪りんご、りんご、りんごとりんご。と聞かせてリズム打ちをし、汽車などの玩具で、♪いちだいのきしゃ、にだいのきしゃ～じゅうだいのきしゃ。など聞かせて数え歌をさせた。これと併行して、337拍子の上でアなどを聞かせ未解決技法で母音の発音を促したところ、S5で母音が出て、イナイナイバ～でバーも言えた。折り畳式の2音節語の絵・文字カードの文字の指差しも、歌にあわせて可能になった。家庭でもキーボードを入手し歌わせているとのことであった。

S17 平がな五十音表のたて読みの歌を聞いて指差しとともにそれらしく発音できた。  
S20 折りたたみ式の二音節語の文字・絵カード10枚を使って、文字カードの指差しをしながら歌うことができた。S38 50玉计数器で答えが6までの足し算等ができ、連想しりとり歌『あかちゃんはいさい』が続けて歌えた。S45 玩具の歌60組ほどを歌い、海の生き物も♪くじら、くじら、あおいくじら。たこ、たこ、あかいたこ。などと形容詞を使った2語文も可能になった。S50 連想しりとり歌で『ちいさいのはあかちゃんとあり』などと前後の2者の共通点を使った多語文が可能になった。S70 絵かき歌で多くの絵を書き、多くの平がなの文字が書けた。50玉で答えが10までの足し算ができ、S86で10までの数を使った引き算も可能になった。S109  $9+2=11$  や  $8+4=12$  などの繰り上がりも可能になった。

S116 2、4、6と2ずつ増しながら100までと、5、10、15と5ずつ増やししながら100までとを玉を動かしながら言えた。自動詞構文の2語文や他動詞構文の3語文が言えた。

S122 濁・半濁音のたて読みと横読みができ、お金の50円までの等価関係ができた。連想しりとり歌の『さるはのぼる』『ひまわりはさく』などの共通点を続けて言えるようになった。今後はそれぞれの学習の量を増やし、時計や九九なども加えて進めたい。

## 結果と考察

3年8ヶ月のSを通して多語文の発語が身につく、多くの平がなの文字も書けるようになった。数概念の基礎も育って来た。ことばの表現力も増し、家族や知人との短い文による言葉を使ったコミュニケーションも可能になった。現在A君は障害児学級3年生で元気に通学をしている。

## 『ジャパニーズイントネーションミュージックセラピーによるM男の変容』

日本ことば療学会委員 穴戸理恵

4歳児のM男は病院の言語訓練に通うも、母音など1音節の発語もない中で当教室でのセッションをスタートさせた。堀田メソッドの1音節の歌、数玉（色の名前を言いながら1つずつ動かす。）言語訓練時に言えなかったイナイナイバーの「バー」の部分をアフリカの太鼓ジャンベで連打し、声を出させたり、メガホンで声を響かせたりした。言語脳の左脳の機能と関係があるのか、右手を使うのがにがてなようであったが、くりかえしセッションを行う中で、右手を数玉で移動させ「あか」に似た発語が出てきた。母親が今までの反応と違うと話す。赤い玉を10個M男は一生懸命1つ1つ移動させ、全部行くと自分で喜び手を叩いた。達成感と共に、「赤」の言葉が脳内で意味として結びついた実感をM男と共に私も感じた。それからは青、白など何か声を発しながら夢中で行うようになった。牛のパペットできらきらぼしの歌に合わせ「モー」と繰り返すセッションの後では、家で母親が食事を作っているときに「モー」と発語をし、「牛」という言葉に対し「モー」と言う関連性がでてきた。手を振り「バー」、イナイナイに似た音をモゴモゴ言うようになる。さらにア行を本をみて発語するようになり、文字への興味がでてきた。アアと3回発語、マ行やや行の一部も出てきたので、きらきらぼしのウンチャの次に「ママー」と親子で抱っこをする動きをしながら大げさに未解決技法を行うと、「マママ」「ママー」と連発し、母親は涙。ここでやめてはいけないと何度も行う。その後「パパ」「にーに（兄）」も発語。鼻から空気がぬけずに声になるように笛を使用し、その他次なるセッションを重ねている。「息子の成長を病院で驚かれ、育児に希望が持てるようになりました。」と母親。頑張っていきたい。



## 知的障害者A君とのとんちんかん問答

日本ことば療学会 委員 上野 奈央

♪ ラソ ラソ ラソソソララ ラソソラララ♪ A君 A君 A君のなまえ A君のなまえは  
ラソ ソラララ！ 君の名前は ♪ ○○ ○○○！ A君は大きな声で自分の名前を  
はっきり言えるようになりました。A君と、音楽療法の時間にことば療法を取り入れて、一年目  
のことでした。A君は、特別支援学校を卒業後、生活支援センターに通所しています。支援セン  
ターには40名ほどの仲間がいます。平均知的年齢は1.5歳～3歳未満です。仲間の殆どは言語  
を使うことができません。そんな中で、A君は何かしら言語らしき言葉を発することが出来たの  
です。でも、A君の言葉は意味不明でした。「出来るか言うて～！」「まだ早い～？」「ダメダメ！  
言うて！」などなど、大きな声で言い募るのです。その度に、「うるさい！」と叱られて、部屋  
の外に出されるのです。その頃堀田メソッドを勉強させていただいていた私は、A君は自分が今  
迄に獲得した少ない語彙の中で表現する自分の気持ちと言葉が一致していないのだと思い、発語

能力のあるA君に個別セッションが出来ないか、施設に掛け合いました。その結果、集団音楽療法以外のプログラムとして、A君を含め発語能力があると思われ年齢も比較的若い4人の仲間達との月1回の発語音楽療法が可能となりました。最初のA君への課題は「うるさい！」と5回叱られたら退場することから始まりました。5の数から逆算していき1になった時にA君は「まだ1回あるよ〜！」と言いました。その時に、「5・4・3・2・1・0」で確か6回だなぁ〜と私も感心しました。生活のうえで、A君が獲得してきた手段があること、そして知的年齢と生活年齢のギャップも感じました。



### ＝子どもと向き合ってきたことばの教材＝

日本ことば療学会委員 竹森 若緒

私が子ども達とメソッドに向き合ってから、約5年が経ちました。初めは出来たばかりの「NPO法人」の中の「日中一時預かり」と言うシステムの中でのスタートでした。母子分離の教室で6人位の子ども達と向き合っていました。ダウン症候群、自閉症、染色体異常の子ども達でした。メソッドを学んでいたのは、私だけでした。猫の手も借りたいくらいの多動な子ども達でした。私がピアノを弾けば子どもの促し方が分からない仲間ばかりで、日々運動会状態でした。

そこで、メソッドをCD化させました。子ども達の動きを脳で想像しながら「歩く、手を振る、飛ぶなどなど。」を歌い、録音してCDに焼いて現場に持っていき、タイミングが合わなければ何百回でも歌い直してはCD化して持っていきました。「はじまるよー！のうた」「あるくうた」「シャボン玉の歌」「まねっこうた」など作り続けて2年ほどたった頃、一般に売られている絵本に不自由さを感じるようになりました。思い切って独自の「音楽紙芝居」を作る事にしました。教えた言葉を紙芝居にしていく。伝えたい物事を、絵に託し、言葉を歌にしてCD化していきました。これが素晴らしく子ども達のことばを引き出してくれる教材になりました。最近出来上がった「ひらがな絵本」では、ダウン症候群の子ども達（2歳後半位から）がひらがなを読み出し書く子まで出てきた事です。「自己紹介の歌」も面白い結果を出してくれています。♪「ぼくは、男の子 小学校 一年生 竹森 太郎 5歳 です。」で、8語文。これを言える子ども達がどんどん増えている事。その後は、質問の歌。「太郎くんは、何年生？」「太郎くんは何歳ですか？」「好きな食べ物なんですか？」など、質問される事を苦手な子ども達。今では、質問が大好きな子ばかりです。夢中で教材を作っているうちに、NPOでの教室は9クラス。一クラス6人～10人までを、私を含め約3人の仲間でセッションします。今は、地方にも教室が出来ようになりました。生徒数は、100人を超えています。しかし、現状は塾のような形態です。

今後は子ども達にもっと仕事に繋がる勉強をしてほしい。夢は大きく！真新しい保育園と学校がほしい。そこで働き長い時間を共に学びたい。そして、このメソッドが全国の子どもにわたる様、手作り教材が全国の教科書になってほしいです。

# 大型遊具導入後のデイサービス

企業組合 カトレア・サービス  
代表 赤崎倫夫

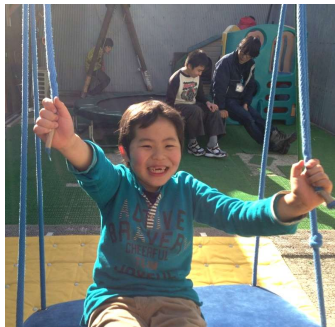
アーチさくら・きくい・しばたに大型遊具が導入されてから1年が過ぎました。

トランポリン、スウィング、大型ブロック、ピラミッドなど大型遊具の導入後、アーチの子どもたちの遊びの幅が大きく広がりました。大型遊具を使うことで、遊びの場が立体的になり、ダイナミックに身体を使って遊ぶことが多くなりました。

子どもたちはひとつひとつの遊びから満足感や達成感を得ています。それらは少しずつ積み重なって子どもたちの成長を促します。これからも子どもたちが「たのしい」「できた!!」と実感できる遊びを、大型遊具を活用して提供しながら、のびのびと発達できるようよりそっていきます。



良いトランポリンはリバウンドのボリュームが大きく、垂直に高く跳ぶことができます。



スウィングは、激しく揺らしたりのんびり揺らしたりと、自分が求める刺激が得られます。



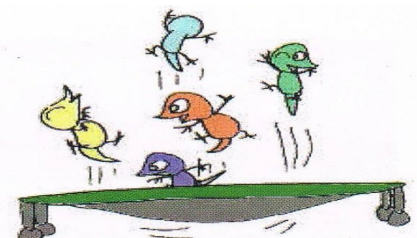
大型ブロックは複合的に組みあわせて、登る、くぐる、すべるなどの遊びができます。



ピラミッドはバーが傾斜していて、体の使い方が不器用な子にも登りやすくなっています。

商品紹介しています。

SHOP294 <http://2949n.jp/> 企業組合 カトレアサービス  
子どもたちにとって楽しく遊べて、成長を促すことができる  
感覚統合遊具や運動器具・音楽療法教材を紹介しています。





<p>～音の翼にことばをのせて～</p> <p>日時：2013年2月11日 (建国記念日)</p>		<p>会場：MYTHEATER (メイ シアター) 大阪府吹田市泉町2丁目29番1号</p>
<p>9:30～10:00</p>	<p>受付</p>	<p>総合司会：赤崎倫夫</p>
<p></p>	<p>挨拶</p>	<p>堀田喜久男</p>
<p>10:10～11:10</p>	<p>基調講演</p>	<p>風間 千寿子</p>
<p>11:15～12:00</p>	<p>研究発表 (発語音楽 親子セッション)</p>	<p>堀田 喜久男</p>
<p>13:00～14:10</p>	<p>シンポジウム (個に届くことばの療法を考える)</p>	<p>進行役：央戸理恵</p>
<p>14:20～14:50</p>	<p>研究発表 (高齢者の失語症)</p>	<p>高橋亮太郎</p>
<p>14:50～15:20</p>	<p>研究発表 (音楽やうたと物の結びつき)</p>	<p>後藤浩子</p>
<p>15:30</p>	<p>閉会</p>	<p></p>

多くの方々にご参加して頂き、無事修了致しました。

**写真説明** シンポジスト

(左より増田光音・徳田和恵・高橋亮太郎  
・堀田喜久男・風間千寿子)

- ・ 学会風景
- ・ 親子セッション
- ・ 基調講演 (風間千寿子)
- ・ 研究発表



コラム③ 穴戸理恵

人間の脳には言語脳といわれる左脳、音楽脳などともいわれる右脳があります。

15, 16 年前に凄いなあ〜と思いつつながら読んだ、角田忠信氏の著書『右脳と左脳（脳センサーでさぐる意識下の世界）』をひっぱり出してパラパラめくってみました。

この本にのっている興味深い内容のひとつに日本人と西欧人の自然音、言語音、楽器音の認知機構の差があるということがあります。音楽と西洋楽器音、機械音、雑音などは日本人も西欧人も右脳で聴きますが、西欧人は感情音、母音、鳴き声、笑い声、動物、虫、小川のせせらぎ、波や雨の音、邦楽器音を右脳優位になるのに対し、日本人はそれらを左脳優位になるということです。三味線の♪ちんとんしゃんは日本人には「ちんとんしゃん」と聴こえ、虫の鳴き声などの自然音に敏感で、一音節母音（いは胃、えは絵など意味のあることばもあることに関係性がある）も立派なことばです。

絶対音感の持ち主には西洋音楽でも「ド、ソ、ラ」と言語で聴いたり、これは他の文献ですが交響曲など難しいと感じながら聴く人は左脳で聴いたりするといえます。

同じ脳でも日本人独自、個人差のあるものようです。ことば療法も日本人にあったやり方を考慮することが大切なのかなと再認識しました。そして発語に関わる器官には口腔、喉、声帯、肺、耳、鼻などたくさんありますが、当たり前のことですが、「脳」についてもっとよく知ることは大切なのかなと思いました。

セッションに来られる一音節発語が進んできた4歳男児は、リストやベートーベンのピアノ曲が好きで、いつも聴きながら眠る子。右脳で音楽を楽しんでいると思いますが、「ドレミファソ」の階名唱を用いた内容も少しやったら違う効果もでてくるのかも、ふと思う今日この頃。どうなんでしょうか。

発語音楽療法 新商品紹介

待望の『お金の歌』CD完成！



障がい児に 10,000 円以上を教えた『お金の指導法』が 1 枚の CD に！模擬貨幣を使用して楽しく覚えましょう。 CD・模擬貨幣（32 枚） **セット価格 5,250 円**

## 一般社団法人発達支援協会 認定教室

- ・埼玉県 【加藤音楽教室】 主宰者 加藤千子 HP <http://syougaiji-ongakukato.jp/>
- ・大阪府 【さゆり音学院】 主宰者 土田靖子 HP <http://www.seepa.jp/u/hatugo-oosaka/>
- ・愛知県 【SiSiDo Music room】 主宰者 央戸理恵 HP <http://www.seepa.jp/u/piano-hatugo/>
- ・三重県 【樋口音楽教室】 主宰者 樋口なおみ
- ・福岡県 【ことばの音楽教室】 主宰者 工藤知子

\* 発語（ことば）音楽療法の教室です。教室か事務局にお問い合わせ下さい。052(505)5255  
教室紹介（平成25年4月認定教室）

昨年一年間、堀田先生の素晴らしいメソッドを学び、5月より、ことば音楽療法の教室『りずむの木』を開設することとなりました。まだまだ勉強することは山積みですが、堀田先生を始め諸先輩方にご指導いただきながら、一人でも多くのお子さんの発語を促していけるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

福岡県遠賀郡：『りずむの木』 主宰者 石井純子

「はじめまして。私が堀田メソッドを勉強したのは子供が障害を持っているからでした。なので障害に悩む親子さん達とは日常生活でも接する機会は多く、発達障害で悩む方達の気持ちは我が身のように感じます。先生と言うよりも、子供の自立を目指す、同じ目的を持つ仲間として頑張っていけたらいいなと思います。」

京都府舞鶴市：『さがん発語音楽教室』 主宰者 目美香

26年度  
3月(予定)

## 第2回 日本ことば療法学会

開催場所：横浜



会報誌の発行も3回目となり、お陰様で会員の方も少しずつ増えてきました。

最近は行事などを開催する際に【コラボ】企画を行う団体が多くなってきました。コラボとはコラボレーションの略で、共に働く、協力するという意味で、共演、合作、共同作業を指す言葉で、多くの分野で「コラボ」企画が行われています。効果の一つに、今まで全く関係のなかった方々が参加してくれたり、関心を持って頂いたりという良い相乗効果をもたらすことがあります。

日本ことば療法学会も今後、子育て支援のNPOや音楽療法、アート、アロマセラピー、ヨガ、障害児・者施設、親御さんの会などの団体や個人の方と『コラボ』企画をすることで、志気を高めていきたいと考えています。適所で様々な団体と共同企画などを行うことで、会員の皆様にも勉強の場や交流の場を提供することが可能になります。現代のキーワードでもある共生という言葉を意識しながら、広い視野で障害児・者の療育を考えていきたいと思っております。また他業種と『コラボ』をすることで、障害児・者の活躍の場が少しでも増えてくることにつながっていけば幸いです。これから暑い夏の到来です！水分補給をしっかりとしながら、元気で乗り切ってまいりましょう。

事務局 高田

日本ことば療法学会ホームページ  
日本ことば療法学会 →検索

事務局：愛知県名古屋市西区上小田井 2-98 発行部数：500部  
電話&FAX：052(505)5255